

[<< 前に戻る](#)

ビオトープ 萩の合谷園トンボ池

生き物の楽園

ビオトープ

3月の定点観測

(2011年4月9日 掲載)

◆マメ科の植物の正体◆

茶色の草の下に徐々に植物が顔を出してきていた2月。
 その中で、草地のところで特に広範囲に目立っていたのが、マメ科の植物です。
 マメ科の植物は、3月になると、花は咲いていませんが、葉や茎は元気に育ち想像が付くまでの成長をしていました。
 4月の初めには、立派に成長をし花を咲かせていました。
 そのマメ科の植物の正体とは、一体なんですか。
 それはこちらです♪



カラスノエンドウ

【カラスノエンドウ】 マメ科 ソラマメ属

道ばたや畑などで春早くから、小さな紅紫色の花を咲かせるつる性の野草。葉の先は、まきひげとなっています。
 エンドウマメみたいな果実が付き、熟すと黒くなることから名付けられました。
 こちらは、3月の初めからみられます。
 特徴は、葉の付け根に2~3個花が付きます。



スズメノエンドウ

【スズメノエンドウ】 マメ科 ソラマメ属

カラスノエンドウに比べて小さいことからスズメノエンドウと名付けられました。
 花期は春だそうで、4月に入り、見つけることができました。
 特徴は、葉の付け根から出た柄の先に3~7個の花をつけます。

【カスマグサ】 マメ科 ソラマメ属

カラスノエンドウとスズメノエンドウの間ということで「カスマグサ」と名付けられました。花期は春でこちらも、4月に入り、花を咲かせていました。
 特徴は付け根から出た柄の先に、2つ花が付き花の赤紫の筋模様があります。



カスマグサ

マメ科の植物の正体は、カラスノエンドウの仲間でした！
花が咲くまでは同じものと思っていたのですが、よく観察してみると違う名前でした。
この植物は、トンボ池の草地やスロープの周りに沢山生えています。
それぞれ違うので、観察してみてください♪

3月の定点観測です。下記の添付ファイルをご覧ください。

PDFファイル: [平成23年 3月定点観測](#)

問合せ先

宮崎市萩の台公園 〒880-0125 宮崎市大字広原竹増迫7150
TEL:0985-30-2163 FAX:0985-39-5940 E-mail:haginodai@mppf.or.jp

Copyright (C) 2010 Haginodai Park. All Rights Reserved.

[<< 前に戻る](#)

ビオトープ 萩の合谷園トンボ池

生き物の楽園

ビオトープ

4月の定点観測

(2011年5月15日 掲載)

◆園内のトンボ達◆

今年も園内にあるビオトープトンボ池に、トンボの姿が見られるようになりました！
今、見られるトンボを紹介したいと思います。



ショウジョウトンボ♂5月10日撮影

【ショウジョウトンボ】 トンボ科

真っ赤な体で羽の付け根が茶色になっているトンボです。
園内で最も長い間、見られるトンボで、。
人なつっこい性格でしょうか、近寄っても逃げにくいトンボで写真
が撮りやすいですよ♪



ショウジョウトンボ♀5月10日撮影

こちらは、ショウジョウトンボのメスです。
トンボは、環境によって個体差があるようで、昨年は比較的大き
いショウジョウトンボでしたが、今年は一回り小さい様な気がしま
す。



ホソミオツネントンボ♂4月5日撮影

【ホソミオツネントンボ】 アオイトトンボ科

成虫で冬を越すイトトンボ。冬は枯れ枝のような色をしています
が、春になるとオスは、綺麗な青色に茶色のまだら模様に変身
します。
年中いるそうですが、昨年は、観察できなかったトンボです。

【アオモンイトトンボ】 イトンボ科

オスの腹の先が鮮やかな青色のイトトンボ。
成虫になった後も、水辺から離れることがないため、様々な成熟
過程の個体が見ることが出来ます。今年も比較的多く飛びま
わっています。



アオモンイトトンボ♂4月18日撮影

その他にも、シオカラトンボやヤンマ系のトンボも見かけています。まだ、観察中ですが、これから、夏、秋になると、観察できるトンボも種類が増えてきますよ。
皆さんも観察してみてください♪

それでは、4月の定点観測です。下記の添付ファイルをご覧ください。

PDFファイル: [平成23年 4月定点観測](#)

問合せ先

宮崎市萩の台公園 〒880-0125 宮崎市大字広原竹増迫7150
TEL:0985-30-2163 FAX:0985-39-5940 E-mail:haginodai@mppf.or.jp

Copyright (C) 2010 Haginodai Park. All Rights Reserved.

[<< 前に戻る](#)

ビオトープ 萩の合谷園トンボ池

生き物の楽園

ビオトープ

5月の定点観測

(2011年6月10日 掲載)

暖かくなってきた3月下旬ごろから、徐々に増えはじめたアオミドロ。5月になるころには、池全体に広がっていました。あまりにも大発生していた為、5月中旬アオミドロの除去を行いました。さて、トンボ池で大発生した、アオミドロとはどのようなものでしょうか？



トンボ池に発生したアオミドロ



作業中

◆アオミドロ◆

アオミドロは、ホソミドロ目に属する藻類アオミドロ属のものを指します。様々な淡水にごく普通に見られ、よく繁殖して緑色のカーペット状に浮いています。水田や溝にもごく普通に見ることができます。メダカの産卵場となる藻場や生き物たちの隠れ家や休憩場所として生態循環の場を形成し、水質浄化機能を果たしています。



作業前

少しの栄養と光があれば繁殖でき、更に一度繁殖しはじめると栄養分がなくても繁殖し続けられるようです。また、水中の窒素分が高く昼夜の水温差が激しい環境になると大発生するそうです。春先は要注意ですね。

思えば、トンボ池でも大発生した時期は、4月中旬ぐらいからで昼はあったかポカポカ陽気で夜は寒い日が続いていました。しかも、雨が降らない時期だったので水の循環が滞っていました。アオミドロが繁殖するには絶好の環境だと納得！！



作業後

ビオトープ池では、真っ先にアオミドロが発生し増えすぎると底の方の藻体から死んで汚泥状となり、池の中の見通しが悪くなります。水生昆虫やメダカなどの魚が行き来しにくくなり、ビオトープ鑑賞池としての機能を考えた場合、景観的にいいとはいえません。適度に取り除きながら今後、大発生しないように対策をたてる必要があると考えています。

それでは、5月の定点観測です。下記の添付ファイルをご覧ください。

PDFファイル: [平成23年 5月定点観測](#)

問合せ先

宮崎市萩の台公園 〒880-0125 宮崎市大字広原竹増迫7150

TEL:0985-30-2163 FAX:0985-39-5940 E-mail:haginodai@mppf.or.jp

Copyright (C) 2010 Haginodai Park. All Rights Reserved.